

2014 年度 早稲田大学 国際教養学部 国語解答例

(一)

[出典] 吉本隆明「春の匂い」(『日々を味わう贅沢』所収)

問一 1 オ 2 ウ 3 イ 4 ア 問二 オ  
問三 B エ D オ E イ F ウ G エ 問四 ア  
問五 ウ・カ 問六 エ 問七 イ

(二)

[出典] 太宰治「ヴィヨンの妻」。問題文途中に省略がある。

問八 A オ B ア C イ D エ 問九 ウ 問十 ウ  
問十一 ウ 問十二 オ 問十三 エ 問十四 ウ・カ

(三) 『無名草子』序の部分

問十五 オ 問十六 e 問十七 エ 問十八 イ 問十九 オ  
問二十 ウ 問二十一 ウ

[講評]

現代文は、昨年度の「(一) 評論 + (二) (小説的な) 随筆」の組み合わせから、「(一) 随筆 + (二) 小説」の組み合わせになった。文章としては、(一) (二) とも易化した。設問は、(一) は問五、問七がやや紛らわしいほかは、おおむね解きやすい問題であった。(二) は、問十、問十二、問十四は難しく、消去法で答えを絞り込む必要がある。(三) は昨年同様古文の出題。分量は昨年よりやや長め。頻出出典からの出題だが、前書きなどがなかったため、作品の背景や状況設定がつかみにくく、問十七、問二十がやや難しい。全体的には、単語の意味や基本的な文法知識を問うことが中心の標準的な設問であった。

2014 年度 早稲田大学 国際教養学部 解答例

**READING SECTION**

- I (1) 1-G 2-F 3-K 4-D 5-C 6-E 7-J 8-I  
(2) C, E, J, K  
(3) [1]-B [2]-B [3]-D [4]-C [5]-C [6]-B [7]-B [8]-C  
(4) A
- II (1) 1-D 2-A 3-C 4-B 5-E 6-E  
(2) 1-B 2-C 3-C 4-C 5-A 6-D  
(3) 1-B 2-D 3-C 4-C 5-E 6-A

**WRITING SECTION**

III (例文)

日本では、新しい裁判員制度が 2009 年 5 月に導入されて以来、裁判の内容が変わりつつある。たとえば、明白な無罪判決の割合がいくぶん減少する一方で、ある一定の種類の犯罪が厳しく罰せられるようになってきた。こうした事情のもとで、厳格すぎる守秘義務や、公判前証拠開示、死刑判決への全員一致要件に関して再検討の余地がある。

IV (例文)

I agree to the age limit to using the Facebook service, because opening an account of Facebook accompanies the risk of being involved in crimes such as a fraud, stalking and kidnapping, against which young children are defenseless.

**LISTENING SECTION**

- I 1-T 2-F 3-F 4-T 5-T 6-F 7-F 8-T 9-T  
10-T 11-F 12-F
- II 1-B 2-C 3-A 4-D 5-B 6-C 7-D 8-B 9-C  
10-A 11-D 12-B

※コメント 昨年度(2013 年度)は、長文問題の大問 I でパラグラフごとの要旨を選択肢から選ぶ設問が出題され、および大問 II で本文が長めの物語文が出題されて、変化があったが、本年度はそれを含めて、昨年度のスタイルが継続された。難易度に大きな変化はない。じっくり本文を読めば、設問自体はまぎらわしいものはないので他学部に比べて解きやすい。リスニングでは所々でレベルの高い語彙が用いられているが、全体の流れをつかめば、解答に支障はないと思われる。